

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2018年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2018年 4月1日発行 通巻300号

気候の変化に対応し

春山を楽しもう

4月号目次

・ 目 次	2
・ 千葉県連盟定時総会報告	3
・ 新役員紹介（伊東春正教遭委員長）	5
・ ウィークデイ山行募集案内	6
・ 足尾植樹祭案内	7
・ カラパタール山行報告（松戸山の会）	8
・ 海外委員会活動予定	11
・ タイ「チェンダオ山」登頂募集案内	12
・ 県連たより	13
・ 4月・5月予定表	14

表 紙 説 明

松戸山の会・エベレスト街道トレッキングのワンシーン、カラパタールからのエベレストです。

ネパールの空は、白い峰々の引き立て役として最高のヒマラヤンブルーです。

ネパール・クーンブエリアで、毎日素晴らしい山々を眺め、地元の人々の生活感あふれる村々を通る人気コースを、十分に楽しんだ様子が伝わる報告をいただきました。

近いうちに、また素晴らしい山行報告を期待しています。

——編集者——

千葉県連第 52・53 期定時総会に参加して

安彦 秀夫（東葛山の会）

- ・ 日時：2018 年 3 月 3 日（土）13：00 ～ 16：00
- ・ 場所：千葉県総合スポーツセンター宿泊研修棟大ホール

東葛山の会の『代議員』として、更に、定時総会の『議長』として、今回の定時総会に参加しましたので、主に『議長』の視点から感想を述べたいと思います。

総会開催前に、議長としての打合せ時間を取るため、余裕を持って自宅（野田市）を車で出ました。しかし、予想以上に国道 16 号線が混んでおり、会場に着いたのが 12：20 でした。廣木会長と議事進行などについて打合せを慌ただしく行い、昼食（コンビニ弁当）を摂りながら、もう一人の議長（高見さん/東葛山の会）と分担などを確認し合いました。

『議案書』、『加盟会活動報告集』、『総会資料(規約など)』の 3 部を、当会の理事を通して事前に入手し、『議案書』の中の疑問のある個所には赤ペンにてメモを入れ、議事の流れ（進め方）を私なりに組み立てていました。しかし、当日配布された差し替え文書などもあり、十分な把握をしないまま開会になりました。

『第 1 号議案：第 50・51 期活動報告』と『第 2 号議案：第 51 期収支決算報告・監査報告』では、提案及び質疑応答で、予定していた時間をかなりオーバーしました。

この感じで議事を進めていたのでは、予定の時間内で総会を終えることが難しいと考え、休憩を取らず、『第 3 号議案：第 52・53 期活動方針』と『第 5 号議案：東日本大震災支援活動』そして『第 4 号議案：第 52 期予算案』については、要点を押さえての提案にしていたら、質疑応答に多くの時間を取ろうと考えました。

提案はスムーズに進められ、質疑応答に移りました。しかし、質問が思っていたより少なく、早めの採択に至りました。

その後、『第 6 号議案：役員選出』に移り、立候補者が無く、廣木会長から現役員の留任（欠員あり）が提案され、教育遭難対策委員長との交代があっただけで承認され、議事は全て終了しました。

結果論ですが、方針説明の時間をもう少し多く取って、心置きなく提案してもらっても良かったかな…と反省しています。

写真：廣木会長挨拶→



質疑応答の中で特に印象に残ったことについて述べたいと思います（順不動）。

1) 会計年度と活動年度

『会計年度』は、規約第10条で『1月1日より12月31日まで』と定められています。一方、『活動年度(?)』は、規約では特に定められていないためか、委員会によっては、『4月1日から翌年3月31日まで』の報告が見受けられました。このようにバラバラで良いのでしょうか？ 私としては、会計年度に統一したほうが良いのでは…と考えています。

2) 会計報告（収支決算報告書）

定時総会が2年に1回の開催になったことより、中間年では『理事・各会代表者合同会議（臨時総会?）』でもって報告・承認されることになっています。その時に承認された報告書が議案書の中に参考として掲載されれば、定時総会出席の代議員にとっては内容把握の上で大いに役立つと感じました。次回から実施していただきたいと思います。

3) 総会開催時間

『ちばニュース』や『定時総会案内』、『定時総会招集状(?)』での表現が統一されておらず、混乱を招いたようでしたが、『受付開始時間』と『総会開会時間』を区別して、どちらもはっきりと明示して各会及び会員に案内を出すべきであった…と感じました。

私は、総会の場で指摘を受けるまで全く気が付いてなく、発言内容を理解するまで時間を要してしまい、議長として申し訳ありませんでした。

4) クリーンハイク実施報告

実施したにもかかわらず議案書に掲載されていない複数会から『記載漏れ』の指摘を受けました。なぜ漏れたのでしょうか？ 原因を確認し、今後は間違いのない報告書になるようにして欲しいと感じました。原因として、『各会からの報告不備?』や『報告を受けた側のデータ管理不十分?』などが挙げられるのではないのでしょうか…。

5) 救助隊隊員ゼロ

救助隊の主力メンバーが所属していた会の解散脱退などによる隊員の激減で、組織としての継続活動が非常に困難な状況になり、現隊員の中で解散すべきという結論に至ったようです。しかし、救助隊は、規約第6条(6)で『この連盟に救助隊を置く』と規定されていることより、一時的な状況でもっての解散はできないのでは…と考えます。

結果として、隊員無しの状況になったことは、残念で仕方ありませんが、早い時点で再始動されることを願っています。

6) ちばニュース購読状況

毎月、廣木会長より各会の理事・代表者・担当者等にメール配信されており、当会では、届き次第、メール環境会員に直ぐ配信し、非メール環境会員には、直近の例会で印刷物を配布しています。又、メール配信時や例会で、記事にコメントを加えたりもしています。

しかし、この『ちばニュース』が県連所属の全会員に配布され読まれているのか…が編集者としては以前から気になっていたようです。

各会において、所属会員全員に配布（メール配信や印刷物配布）を徹底し、記事について例会などで話題にしていきたい…と思います。また、各会の実情を県連に対してタイムリーに連絡して欲しい…と感じました。(2018/3/21/Wed.)

新役員紹介

教育遭難対策委員会の委員長が、伊藤春正さんに代わりました。
前任の岡田委員長同様よろしくお願いします。
岡田委員長ご苦勞様でした。

自己紹介

伊東春正（かがりび山の会）

今年度より教育遭難対策委員長（教遭）に就きました、
伊東です。

かがりび山の会に所属しています。

会に入って 6 年目、県連活動に携わって 3 年目の私に、
役員が務まるかとの疑念を持っていますが、役員の成り手が
いない事情を鑑みて、お引き受けしましたので、よろしく
お願いいたします。

私が登山を始めたきっかけは、糖尿病でした。

40 代前半に健康診断で糖尿病と診断され、まず歩くことを
薦められ、ウォーキングを始めました。

その後、もっと刺激のある運動をしたく、ジョギングをや
りましたが、きついで、どうも継続しませんでした。

ある時、会社の友人と丹沢に登ったのがきっかけで、登山を始めました。

それからツアー登山中心の山行でしたが、つれていってもらっている感が拭えずに、そ
れならばと会へ入った次第です。

そういう事情で、こてこてのヤマヤさんではありませんので、悪しからずです。

さて、ここからは教遭っぽい話です。

日本山岳協会の第 14 回山岳遭難事故調査報告書（2017 年）によりますと、
労山では、14 年間、事故者数対会員比率が 68 ± 3.1 でほとんど変動していないとのこと
です。

つまり、年間、68 人に対して一人が事故に遭っているということです。

ちなみに、千葉県連の 2017 年度の事故報告は 8 件でした。会員数が 754 名ですから、
比率は 94 となり全国よりもいい数値です。

この 68 という数値は、労山活動により抑止効果がでている数値なのか、一定人数での
自然発生的な数値なのかは判っていないとのことですが、一つの目安の数値となります。
また、登山事故件数 2495 件のうち、60 歳以上が 50.6%を占めていますが、登山者に占
める 60 歳以上の割合は約 60%ですので、高齢者だから事故が多いのではなく、登山者
が高齢化しているだけです。

トレーニングをすれば、80 歳まではハイキングは可能とのことです。事故を恐れず
これからも身体を鍛えて登山を楽しみましょう。



第 20 回 県連ウイークデー山行募集

主催 ハイキング委員会

- ・ 山行日 2018 年 04 月 12 日 (木) 日帰り バス利用 雨天決行
- ・ 行き先 筑波山系： 宝篋山 山口コース
- ・ テーマ 桜の花見とその他の花見のんびり山行
- ・ 集合場所と時刻
 - A 車 JR 千葉駅 N T T 前 7 時 00 分集合出発
 - B 車 鎌ヶ谷市役所 7 : 00 集合出発＝我孫子駅北口 7:30 集合出発
- ・ 行 程 マイクロバス (26 人) 2 台 (平沢官兵衛遺跡駐車場乗下車)
下車は変更あり、(又は人数に寄り自家用車もあり)

- ・ 千葉発 7:00＝鎌ヶ谷発 7:00＝国道 6 号線＝平沢官兵衛遺跡駐車場 9:30 着予定
(トイレ：準備体操していざ出発) 大池公園桜見物
 - ・ 10:00 出発一分岐 10:10— (山口コース 2) —車道終点 10:25— (山口コース 2) 分岐 10:40
— (新寺コース) 分岐 10:55/11:05— (小田代コース) 分岐 11:25—トイレ休憩 11:45—宝篋山
山頂 12:00 着予定 (昼食・休憩))
 - ・ 13:00 下山開始— (山口コース 1) —万博の森 13:20—宝篋の水 13:50/14:00— (山口コース 2)
分岐 14:40—新寺コース分岐—駐車場 15:00 着予定 15:30 乗車各地 18:00 着予定
 - ・ 歩行時間 約 5 時間 00 分 (休憩含む)
 - ・ 天気の具合によっては出発コースを極楽寺、常願寺コースから下山を山口コースもあり
- 注：雨天でも散策出来ますので決行します。雨具の用意はお忘れなくお願いします。

●道路状況によりスケジュールや時刻等は変更となる場合があります。

- ・ 募集人員 50 名 (千葉発 25 名・鎌ヶ谷発 25 名)
(今回は桜見物が主ですので気楽に参加ください)
- ・ 費 用 5,000 円 バス料金値上げの為変更あり、
- ・ 持ち物 山行に必要な装備：コンパス (雨具必須)。
- ・ 申込み〆きり 4 月 5 日 (木) としますが定員になり次第締め切ります。
申込先 各会でまとめて桑原までお願いします。
当日は濡れてもよい服装、靴 (又は着替え履き替え持参)

足尾の緑を守る

第23回春の植樹デー

- ・ 4月21日(土)・22日
- ・ 足尾銅親水公園

千葉県連は、毎年参加しています。
今年は、各会に呼びかけて実施します。
足尾近郊の山行と、組み合わせて計画
しては如何でしょう。
会場の近くには、管理されたテント場、
バンガローもあります。
自然保護の原点、足尾銅山の現状を
見て、復興植林を見て下さい。



植樹現場と植樹風景



- ・植樹苗木は、現地には用意してあります。持参した苗木も植樹出来ます。
- ・植樹道具は、スコップ、ツルハシ類を用意してあります。
- ・ハイキングの服装で、水、昼食を持参して下さい。
- ・「雨天決行」です。



復興支援海産物の売店も出店しています。
植樹に参加した高校生が、被災地支援に協力
すると、少ない小遣いからワカメを買って
くれました。
毎年、大きな成果を上げています。

問合せ、連絡先 自然保護委員長 菅井 修
Eメール：fa23475@wa3.so-net.ne.jp

65才のおばさん カラパタール(5545m)に登る！

松戸山の会 菊地 文子

15年前夏合宿白馬岳で高山病になり、大変だった私がカラパタールに登れた！
今年4月に敦子さんからネパールの誘いがある。漠然と行きたい国であった。
「エベレスト街道を歩く」登るのではなく歩く。その言葉に誘われて行く！と発声。

<高山病対策>

2000m以上の山で生あくびが出て高山に弱い私。
女性三人で直前に3回ミウラドルフィンズに行き、低酸素室でのトレーニングを受ける。
この時も明らかに高度に弱い測定値が出ていた。8月末に1人で富士山に登る。
夏より月、2回から3回の登山を心がける。
高山病に効果ありのダイヤモンドモックスを用意する。

★さあ！出発 10月8日羽田空港 23:45 発 ドーハ行 乗り換えでカトマンズ

まだまだ先と思っていたが、9月になるとピザ取得などあれもしなければ、これも準備しなければと気持ちだけが焦る。出発の前日、あれは入れたかと不安になってくるが、もうよし！これでと覚悟を決めて、羽田へ。

今回の旅は英語力のあるL関口さんが飛行機のチケット、ガイドの手配などすべてしてくださり、かなり格安となる。

入山許可証等やカトマンズでの銀行での両替などで1日を費やす。市内の道路は信号機、中央線もなく車、バイクが3,4列と乱れて走る。躊躇していたら前に進めない。

★エベレスト街道へ 10月11日 ルクラ(2860m)8:10～パクディン(2650m)14:00

カトマンズより、小型機でルクラへ。戻って来た時に泊まるロッジで朝食を済ませ1人のポーターに4人の荷物を預ける。若い細身の彼が20Kはある荷物を額にかけて背負う。ポーターたちは皆若い。時々力ありの女性もいる。

ガイド・ミンマさんは風間トオル似のエベレストにも登頂経験ある頼もしい青年

★きつい登り坂高低差800m 12日パクディン(2650m)7:15～ナムチュ(3440m)14:20

日本の山に登る感じで、三人は話が弾む。自分の呼吸法がなかなかつかめず、私はゆっくりで、息が少々苦しい。ヤクが通ると休めるのでうれしい。

昨日よりダイヤモンドモックス半錠を朝、夕で服用。

★高度順応日 13日ナムチュ(3440m)7:30～クンデ(3850m)9:50/10:10～クンデピーク(4250m)11:30～クンデ 12:20

ナムチュで2日間の予定であったが、ミンマさんの自宅のあるクンデに行きクンデピークに登る事を提案してくれる。日本庭園を思わせる静かで素敵な村でした。

のり巻きをごちそうになり、大感激！

★美味しい醤油ラーメン 15日 クンデ(3850m)7:20～タンボチェ～パンボチェ(3985m)14:45

国鳥ダンフェが居るというクムジュン村を通ると一瞬でしたが、見えました。
ロッジのトイレに立山の雷鳥や池塘に咲くワタスゲの写真が貼ってある。日本の山？
オーナーはネパールが雨季の夏場、日本の山小屋へ働きに行くとの事。日本語も上手で



お勧めのラーメンをいただく。私はこの夕食が NO1 かな・・・

夕方、ガスがはれてエベレストがきれいに見える。興奮してシャッターを押す。

★富士山より高い 16 日パンボチェ (3985m)7:50～ディンボチェ(4350m) 11:45
アマダブラム(母の首飾り)の意味のこの山は、形が素敵で一番先に覚える。

前方にエベレスト 後方にタムセルク、カンテガの山々が見えて、まさしくエベレスト街道に居る事を実感。

ここで 2 泊になるので、洗濯をする。

★高度順応日 17 日ディンボチェ(4350m)7:45～チュクン(4730m)10:30/12:00～
ディンボチェ 13:50

なだらかな広い丘をチュクンまで行く。高山病をまったく感知しない敦子さんが、ここで一番足が重かったと言う。カンレヤムウ 6200m の美しいヒマラヤ襷にしばし見惚れてゆっくりとする。アイランドピーク 6189m が見え、登りたいとの声。私はここで充分



★素晴らしい写真ゲット 17 日ディンボチェ(4350m)7:45～トゥクラ(4620m)10:00/50～
ロブチェ(4930m)13:00

朝すぐにロッジの後の坂を登り始める。昨日より楽な感じは高度順応の効果？

登りきるとタワチェ 6542m チョラツェ 6440m の迫力的な雄姿。そこをヤクが通る写真は絵のようです。

ロブチェのロッジはインドより子供たちが、集団で登って来て、今まで一番の混み具合。動いてる時は感じないが、ロッジでゆっくりとすると頭がボートしてくる。高山病かな？
ミンマさんの指示でここから上のロッジでは部屋の窓は寒くても少々開けて眠る。

★カラパタール登頂！ 18 日ロブチェ(4930m)7:15～ゴラクシェプ(5288m)

10:40/12:00～カラパタール(5545m) 14:25/15:05～ゴラクシェプ 16:15

最後のロッジで昼食を済ませ、12 時よりアタック開始。約 300m の丘なのに足は重い。呼吸を整え、一步一步前へ。約 2 時間半かけて山頂へ。

神々が住む領域のエベレストが目前にそびえ立つ。風もなくおだやかな山頂で、L 関口さんが用意してきた日の丸の旗を掲げて記念撮影。

こんな場所に立てるなんて！今まで山を登ってきてよかった！
風になびく 5 色の祈祷旗タルチョー、青は天 白は風 赤は火 緑は水 黄は土 の宇宙を
構成する 5 大要素に感謝とこれからの願いを込める。



★帰路 19 日ゴラクシェプ 7:30～パンボチェ 15:45

20 日パンボチェ 7:30～ナムチェ 14:20

21 日ナムチェ 13:00～モンジョ 14:45

22 日モンジョ 7:30～ルクラ 14:45

★へりでカトマンズへ

23 日ルクラ 11:00～カトマンズ 12:00

最後の吊橋を無事渡り終えた時、

これで帰れると思ったが、カトマンズより飛行機が視界不良で来ておらず、ミンマさん
手配のへりでカトマンズ到着時はホットする。昼食に
冷し中華と久々のビールで乾杯！五臓六腑にしみわたり最高のビールでした。



昨年 11 月に投稿いただきながら、4 月号の掲載になった事をお詫び
します。素晴らしい写真の山行報告だったので、大事に仕舞い込んでい
ました。山行メンバーの皆さん、投稿者の菊池さん、大変申し訳ありま
せん。ちばニュースの役目を果たしていない事を反省しています。

エベレスト街道は、ヒマラヤトレッキングの入門コースと言われてい
ます。報告にもありますが、エベレストを始め個性的な山々が見る位置
によって、形を変えて現われます。また、季節によってシャクナゲから
ブルーポピーまで楽しませてくれます。

しかし、トレッキングであっても、カラパタールは 5,500m あります。
当然、高度障害や水分補給・現地食への対応など厳しい面もありますが、
大丈夫です、準備万端で至福の時を楽しんで下さい。

——編集者——

海外委員会活動予定

海外委員会 安彦 秀夫（東葛山の会）

2018 年の当面の予定は次の通りです。

1) 海外登山の募集案内

目的地：タイ第3高峰『チェンダオ山』登頂とタイ最高峰『インタノン山』散策
& 世界遺産『アユタヤ遺跡』観光とバンコク市内観光

期日：2018年11月28日（水）～12月5日（水）8日間 （6日間コースも設定）

募集人数：20名

参加申込方法：安彦秀夫（東葛山の会）にメールで『申込書』の送付依頼をする

参加申込締切：4月24日（火）（一次集約）（詳細は、募集案内参照）

※アンケート調査をしてから…とも思ったのですが、1月の房総ロングハイク時に一部の会員から要望がありましたので早めに企画しました。

※チェンダオ山の登山時期は、乾期の11月中旬から翌年2月頃までで、この時期のみ入山許可がおりるようです。

2) 海外登山活動に関するアンケート調査実施

4月中旬に、アンケート内容と実施方法などの決定

4月末又は5月初め：アンケート用紙配布（理事と各会代表者にメール配信予定）

6月下旬：アンケート回答締切

7月中旬：アンケートを集計し、結果を理事・各会代表者などにメール配信

3) 各会からの『海外委員会委員』又は『窓口担当者』の登録

アンケート調査実施と並行して、各会から少なくとも1名を担当窓口者として登録していただき、先ずは、委員/担当者間でのメール情報交換を進めたいと考えています。

※6月末までには、登録をお願いします。

4) 海外登山交流集会開催

(2) のアンケート調査結果を見て、海外登山に関心のある会員が一堂に集まり、交流会（情報交換会）を開催したいと考えています（日程未定）。

その準備のためにも、(3) の委員又は窓口担当者の登録をお願いします。

<参考>

アンケート調査を実施する前ですが、次のような山に関心はありませんか？

① オーストラリア：最高峰『コジオスコ 2228m』登頂とブルーマウンテンズ国立公園

2019年1月下旬～2月（約7日間）※7大陸最高峰の一つ

② 中国：『四姑娘山スカーニャン』山麓フラワーウォッチングと『大姑娘山ターケニャン 5025m』登頂

2019年7月（約10日間）※高山植物の花咲くベストシーズンに5000m峰挑戦

③ ミャンマー：第3高峰『ビクトリア山 3053m』登頂とバガン遺跡

2020年1月～2月（約8日間）※世界3大仏教遺跡バガン探訪

<問合せ先> 安彦秀夫（東葛山の会）E-メール：mt25hm4abichan49@gmail.com

タイ『チェンダオ山2225m』登頂と世界遺産アユタヤ観光8日間

千葉県勤労者山岳連盟 海外委員会

タイ北部の古都チェンマイの北方に聳え、タイの旅行雑誌で、『タイで最も美しい山』として毎年1位になっている全山石灰岩質のタイ第3高峰の『チェンダオ山』にテント1泊で登ります。

入山日には、チェンダオ山で夕陽を、翌朝にはギウロム山で朝陽を鑑賞します。

タイ最高峰『インタノン山2565m』山頂付近散策、世界遺産『アユタヤ』やバンコク市内観光も楽しめます。

<期 日> <8日間コース>2018年11月28日(水)～12月5日(水)

<6日間コース>2018年11月28日(水)～12月3日(月)

<費 用> <8日間コース>約26万円 <6日間コース>約23万円

(目安)

航空券往復、ホテル、チャーターバス、観光、全食事(機内食含む)

燃油サーチャージ、成田空港利用料、タイ出入国税など、

登山関連(登山申請料、ガイド、ポーター、テント宿泊など)

<登山コース> 『バーンブア登山口～キャンプ地～チェンダオ山』の往復(テント1泊)

<募集人数> 12～20名 (原則先着順) (但し、『8日間コース』が12名以上必要)

<申込方法> 1)参加希望者は、申込先(安彦)まで『参加申込書』をメールにて請求してください。
メールには、必ず、『氏名』、『所属会名』、『携帯電話番号』等を記入願います。
2)申込みのメールが届きましたら、『チェンダオ山登山参加申込書』をお送りします。
3)『チェンダオ山登山参加申込書』に必要事項を記入し、申込先まで返信ください。
その際に、『パスポート(写真のある見開き2ページ)』のコピーも添付願います。

<申込締切> 2018年4月24日(火) (第1次集約)

<問合せ・申込先> 安彦秀夫(あびこひでお) 東葛山の会

Eメール: mt25hm4abichan49@gmail.com (全て半角)

携帯電話: 090-5827-0571

(関心のある方は、先ず一報を…!)

<日程・8日間コース> 詳細日程・費用は、参加者確定後、改めて旅行会社と調整します。

<食事>

日 時	行 程 (→:飛行機、⇒:チャーターバス)	宿泊	朝/昼/夕
①11/28(水)	07:30 成田空港第1旅客ターミナル南ウィング タイ航空カウンター付近集合 成田空港09:45(TG641)→バンコク15:15<乗継>17:10(TG116)→ ⇒チェンマイ18:30⇒チェンマイ市内ホテル(泊)	ホテル チェンマイ	-/機/○
②11/29(木)	チェンマイ⇒インタノン山2565m(タイ最高峰:ギューメイパン・トレッキング) 山麓観光後、ホテルに戻る(連泊) 歩行時間:約2時間	ホテル チェンマイ	○/○/○
③11/30(金)	ホテル⇒ドイ・チェンダオ管理事務所(入山手続き)⇒ ⇒バーンブア登山口…頂上直下キャンプ地(泊) ※夕食前にチェンダオ山に登頂し夕陽鑑賞(約1時間30分) 歩行時間:約4時間+約1時間30分	テント チェンダオ 山山麓	○/○/○
④12/1(土)	※朝食前にギウロム山に登頂し朝陽鑑賞(約1時間30分) キャンプ地…登山口⇒管理事務所(下山手続き)⇒チェンマイ(泊) (異なる登山口に降りるかも…) 歩行時間:約1時間30分+約3時間30分	ホテル チェンマイ	○/○/○
⑤12/2(日)	ホテル⇒チェンマイ10:05(TG103)→バンコク11:25 専用車にてアユタヤへ 夜:ライトアップのアユタヤ観光	ホテル アユタヤ	○/○/○
⑥12/3(月)	古都アユタヤ観光後、船でバンコクへ 夜:カリブソにて『ニューハーフショー』鑑賞	ホテル バンコク	○/○/○
⑦12/4(火)	バンコク市内観光(水上マーケットなど) バンコク23:55(TG642)→	機内	○/○/○
⑧12/5(水)	→成田空港07:35(通関後解散)	---	機/-/-

<日程・6日間コース> ①～④は、8日間コースと同じ

⑤12/2(日)	チェンマイ市内&郊外観光(メーサー・エレファント・キャンプなど) チェンマイ19:20(TG117)→バンコク20:30<乗継>23:55(TG642)→	機内	○/○/×
⑥12/3(月)	→成田空港07:35(通関後解散)	---	機/-/-

※『チェンダオ山』登山は、入山1ヶ月前までに、タイ政府自然保護局に登山申請をし許可を得る必要あり。

登山期間は、11月中旬から翌年2月頃までで、入山は、金・土・日の3日間のみで、1日の入山人数は、

150名以下と制限されている。また、ガイドやポーターを雇用することが義務づけられている。

※『6日間コース』の⑤の夕食は、空港(チェンマイ又はバンコク)にて各自摂る。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭
dabphiro@zpost.plala.or.jp

NPO法人「ちば労山ゆう」

「ちば労山ゆう」は、
3月29日に開催された臨時総会
において、解散を決定しました。
長い間の参加・協力ありがとうございました。
今後は、千葉県連として支援活動を
引き継いで行きたいと思います。
具体的な活動については、理事会で
協議して行く事になります。
今後の支援活動について 会員の
皆様の意見をお寄せ下さい。
「復興支援海産物」の取り組みは継続して行きます。
これからも

出来る時に
出来る人が
出来る事を
合言葉に支援活動を実施します。

【編集後記】

- ・「ちばニュース」4月号は、通巻300号になりました。
現在の発行形態になって約25年になります。
その間、発行に携ってきた諸先輩の思いと苦労の積み重ねの大きな
成果であります。
私の記憶では、専任の編集者がいて、印刷は会事務所で、各会が
年2・3回の当番で実施していました。白黒、B-5版を各会の会
員数だけ郵送していました。他の会の仲間と和気あいあいと楽しい
作業でした。
その後、印刷・発送が大変との意見や、時代に合わせたPDF・
メール添付での発送に変わりました。簡単にはなりましたが、何%
の会員に届いているのか、読まれているのか等の心配もあります。
各会の協力をいただいて「会員と千葉県連をつなぐ」ちばニュース
の発行を継続して行きたいと思います。

県 連 活 動 予 定 表

5		行事予定	4		行事予定
1	火		1	日	
2	水		2	月	県連役員会
3	木		3	火	
4	金		4	水	
5	土		5	木	
6	日		6	金	
7	月	県連役員会	7	土	雪上技術講習会(マチガ沢)
8	火		8	日	
9	水		9	月	
10	木		10	火	
11	金		11	水	
12	土		12	木	ウィークデイ山行(宝篋山)
13	日		13	金	
14	月		14	土	
15	火		15	日	
16	水		16	月	
17	木	県連理事会	17	火	
18	金		18	水	
19	土		19	木	県連理事会
20	日		20	金	
21	月		21	土	足尾植樹祭
22	火		22	日	〃
23	水		23	月	
24	木		24	火	
25	金		25	水	
26	土		26	木	
27	日		27	金	
28	月		28	土	
29	火		29	日	
30	水		30	月	
31	木				

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで